

2021年12月3日

報道関係各位

全国20歳以上の男女 計2,080人に聞きました

『ダスキン 2021年末 大掃除実施意向調査』

- 2021年末の大掃除は72.1%が実施予定。
コロナ下で普段の掃除時間・頻度が増えた人ほど大掃除意欲が高い結果に！
- 最もキレイにしたい場所は、12年連続で大掃除で苦戦する場所1位の「レンジフード・換気扇」。
さらに昨年より10%も掃除意欲がUP！コロナ下の料理時間・頻度増加による汚れ蓄積が原因。
- 年末大掃除における感染対策は「こまめな換気」と「除菌・抗菌・消毒できるアイテムの使用」。

株式会社ダスキン（本社：大阪府吹田市、社長：山村 輝治）は、全国の20歳以上の男女計2,080人を対象に、2021年末の大掃除の予定をインターネット調査しました。

その結果、**2021年末は72.1%が「大掃除をする予定」**と回答、例年と同様の水準でした。また、新型コロナウイルスの感染拡大による影響で、**普段の掃除時間・頻度が増えた人ほど大掃除意欲が高い(大掃除する予定85.8%)**ことが分かりました。衛生意識の高まりやコロナ下での掃除経験を経て掃除を前向きに捉える人が増えたことが、年末大掃除の意向にも表れたものだと思います。

2021年末の大掃除が集中して行われる日は、大晦日直前の「12月30日(木)」「12月29日(水)」になる予想です。掃除場所の計画を立てたり洗剤・用具を準備しておくなど、効率よく実施できる事前準備をしておきましょう。また、**大掃除で最もキレイにしたい場所は、当社の調査で12年連続で最も苦戦した場所に挙げられる「レンジフード・換気扇」が1位でした。**さらに昨年より10%も掃除意欲が高く、コロナ下での料理時間・頻度の増加によって溜まった油汚れを一掃したい意向が高いことがうかがえます。

年末大掃除においても感染対策を意識・実施したい人は84.5%に上ります。「より念入りな掃除」や「こまめな換気」を意識・実施して、気持ちよく新年を迎える準備をしましょう。

<大掃除に関する調査TOPICS>

- ①2021末の大掃除の実施意向と大掃除予定日・・・・・・・・・・・・・・・・ P.2
- ②最もキレイにしたい場所・・・・・・・・・・・・・・・・ P.3
- ③コロナ下の大掃除で意識・実施したいこと・・・・・・・・・・・・・・・・ P.4

① 2021年末の大掃除の実施意向と大掃除予定日

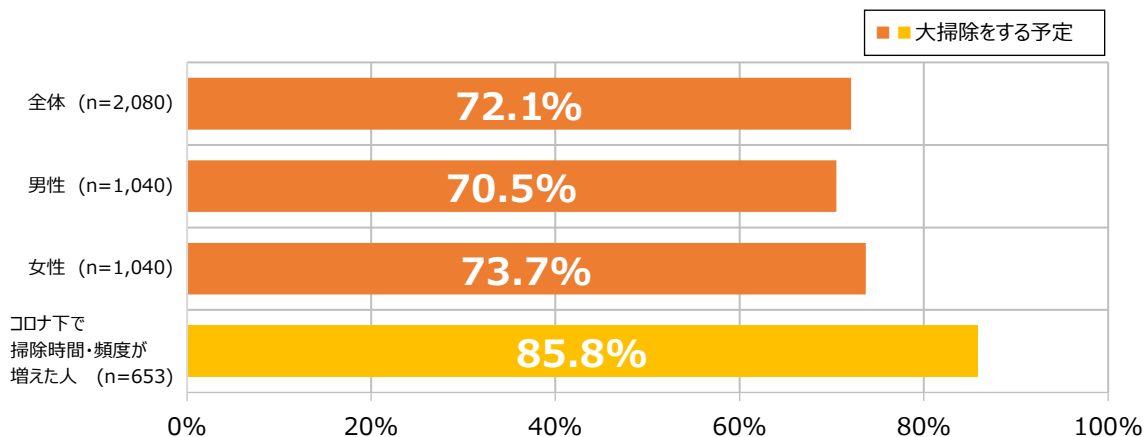
- ・2021年末の大掃除は72.1%が実施予定。
- ・コロナ下で普段の掃除時間・頻度が増えた人ほど大掃除意欲が高い結果に！
- ・大掃除が集中する日は「12月30日(木)」「12月29日(水)」の大晦日直前！掃除用具は事前準備しよう！

2021年末は**72.1%**が「**大掃除をする予定**」と回答、例年と同様の水準でした。なお実際の大掃除実施率を見てみると、2020年末は53.6%、2019年末は52.5%という結果となっています。

また、新型コロナウイルスの感染拡大による影響で、**在宅時間の増加などで普段の掃除時間・頻度が増えた人のうち85.8%**が「**大掃除をする予定**」と回答、**大掃除意欲が大変高い**結果となりました。当社の過去16年間の調査では、普段の掃除をこまめに実施している人(主に専業主婦やシニア層)ほど年末大掃除の実施率が低い傾向でしたが、今回の調査ではコロナ下で普段の掃除時間・頻度が増えたにも関わらず大掃除への意向も高くなりました。衛生意識の高まりやコロナ下での掃除経験を経て掃除を前向きに捉える人が増えたことが、年末大掃除の意向にも表れたものだと思います。

2021年末の大掃除が集中する日は「12月30日(木)」「12月29日(水)」(27.6%)が最も多く、次いで「12月29日(水)」(26.6%)でした。今年も例年と同じく、大晦日直前に集中することが予想されます。掃除場所の計画を立てたり洗剤・用具を準備しておくなど、効率よく実施できる事前準備をしておきましょう。

図1：2021年末の大掃除の実施意向



<参考>
過去3回の大掃除実施率

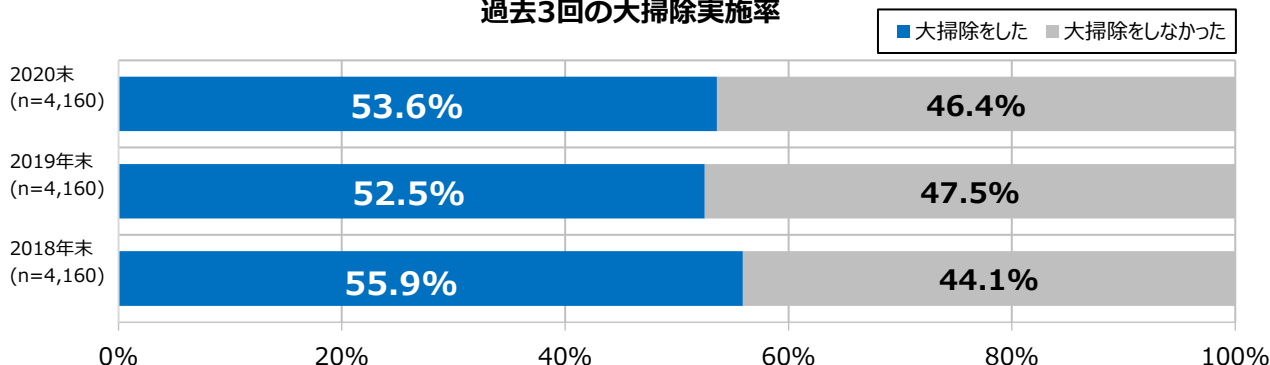


図2：2021年末の大掃除の実施予定日（複数回答あり）

1位	12月30日(木)	27.6%
2位	12月29日(水)	26.6%
3位	12月26日(日)	26.2%
4位	12月28日(火)	19.1%
5位	12月27日(月)	16.2%

(大掃除する予定の人 n=1,499)

②最もキレイにしたい場所

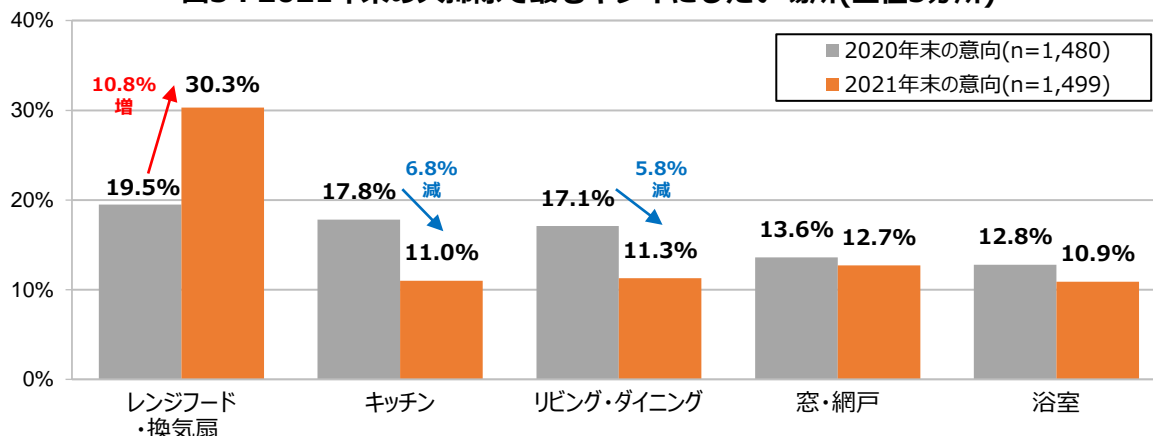
・最もキレイにしたい場所は、12年連続で大掃除で苦戦する場所1位の「レンジフード・換気扇」。
 昨年より10%も掃除意欲がUP！コロナ下の料理時間・頻度増加による汚れ蓄積が原因。

2021年末の大掃除で最もキレイにしたい場所は、当社の調査で12年連続で最も苦戦した場所に挙げられる「レンジフード・換気扇」が1位でした。さらに、例年上位に挙げられる「キッチン」「リビング・ダイニング」は約6%も掃除意欲が下がっている一方、1位の「レンジフード・換気扇」は昨年より10%も高い結果となりました。

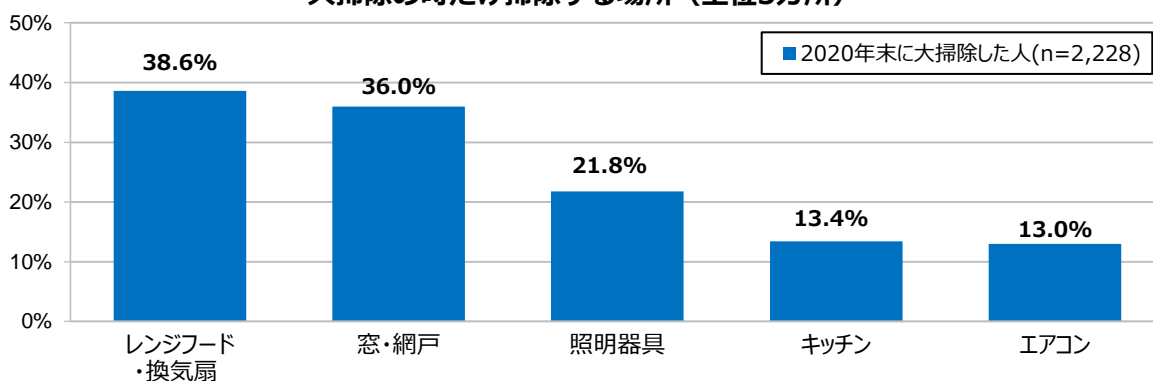
その要因は、普段の掃除時間や頻度が増えても「レンジフード・換気扇」は普段掃除では後回しになりがちで、**大掃除の時だけ掃除する人が4割近くに上る**ことに加えて、**コロナ下で料理時間・頻度が増えた人が4割近くいるため、「レンジフード・換気扇が例年以上に汚れている」**ことが考えられます。

「レンジフード・換気扇」は料理中以外に室内の換気のためにも使用できますが、内部が汚れていると換気機能が低下してしまいます。効率よく換気するためにも、2021年末の大掃除では重点的に掃除しましょう。

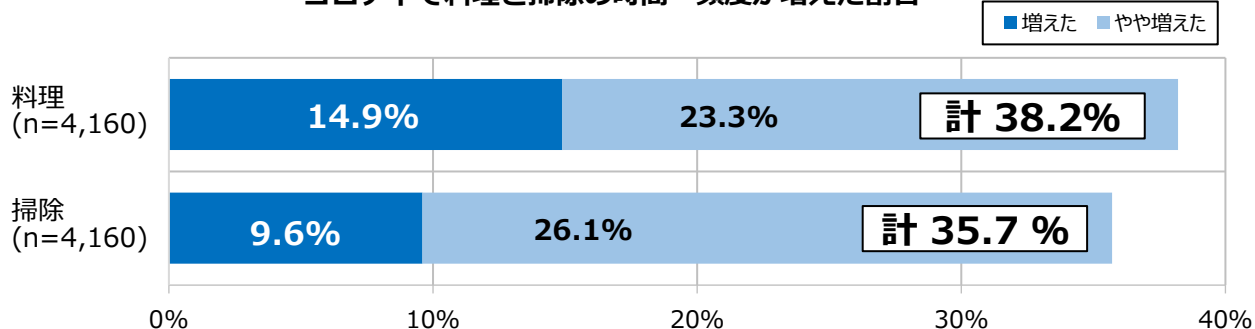
図3：2021年末の大掃除で最もキレイにしたい場所(上位5カ所)



<参考：2020年末の大掃除実態調査より>
 大掃除の時だけ掃除する場所（上位5カ所）



<参考：2020年末の大掃除実態調査より>
 コロナ下で料理と掃除の時間・頻度が増えた割合



③ コロナ下の大掃除で意識・実施したいこと

・年末大掃除における感染対策は「こまめな換気」と「除菌・抗菌・消毒できるアイテムの使用」。

コロナ下において、**2021年末の大掃除で意識・実施したいことがある人は84.5%に上りました。**項目ごとに見ると、全体では「より念入りに掃除するようにしたい」「こまめに換気をしたい」「除菌・抗菌・消毒できるアイテムを使いたい」の順で上位に挙げられましたが、いずれの項目も**コロナ下で普段の掃除時間・頻度が増えた人ほど高い水準となり、中でも「除菌・抗菌・消毒できるアイテムを使いたい」は全体より11%も高い結果となり、衛生意識が高い**ことがうかがえます。

コロナ下2度目の年末大掃除を前に、ぜひ大掃除のシーンでの衛生対策を今一度考え、除菌アイテムの準備などは早めに行っておきましょう。

図4：コロナ下の大掃除で意識・実施したいことの有無

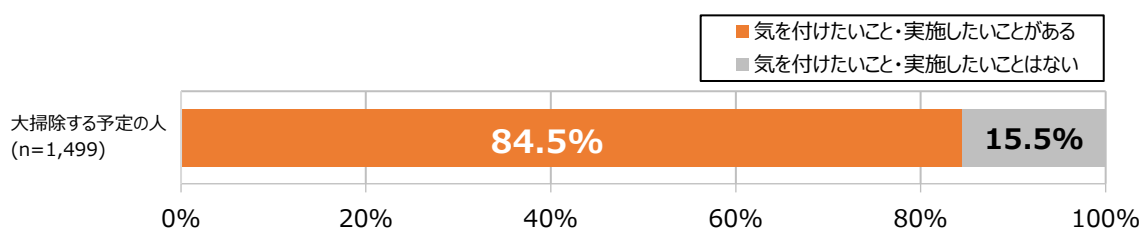
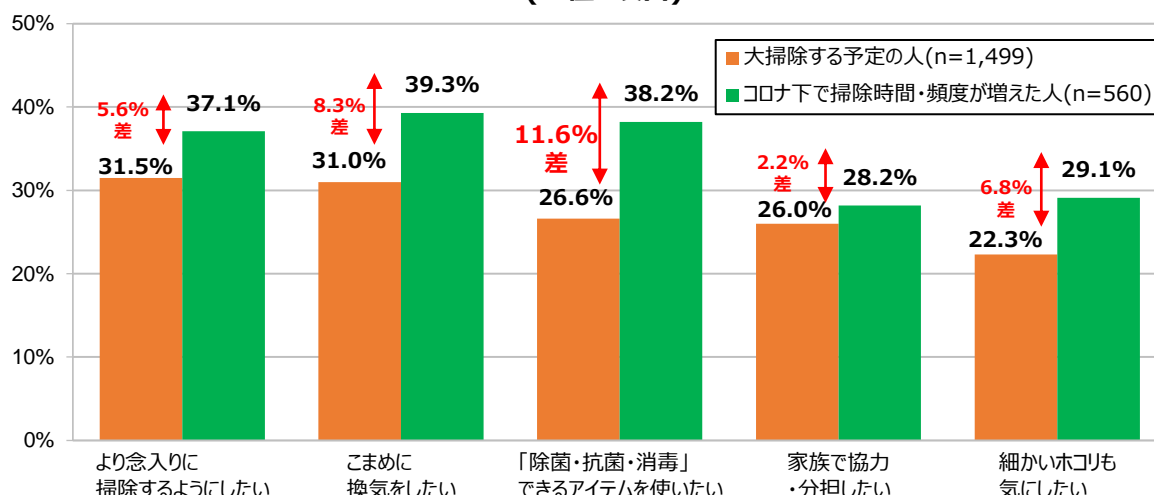


図5：コロナ下の大掃除で意識・実施したいこと (上位5項目)



【調査概要】

- 調査目的 : 2021年末の大掃除についての意向
- 調査対象 : 20歳以上の男女
- 調査地域 : 全国(エリア区分：北海道・東北・関東・中部・近畿・中国・四国・九州)
- 調査方法 : インターネットリサーチ
- 調査時期 : 2021年10月1日(金)～10月3日(日)
- サンプル数 : 2,080サンプル ※全データに対してn数30未満のものは参考値として記載